

# アムGENKI!

## 原点回帰、和道流全国大会は「道」を確認できる機会



和道流空手道連盟全国大会が今年も東京武道館で開催されました。他のどの大会にもないものがこの大会にはたくさんあります。毎年それを感じます。

和道流を志す友との出会いや、ライバルとの再開。

和道流を志す己の今の位置の確認や今後の課題の収穫。

今年も多くのいい経験を出場した道場生全員ができた有意義な大会でした。

この大会では、試合に勝つことよりも、自分が、道場が、これまで稽古してきた、培ってきたものを試すことが出来る絶好の機会であり、それは他の大会では出来ないことです。和道流としてやってきた心身の修養、技の研磨、体の鍛錬、を文字どおり試合で試し合い、仲間やライバルたちと確認しあうことができるのが和道流全国大会なんです。

今回、改めて、自分は何のために「和道流」として空手をやっているのか、古賀道場はどこを目指し進んでいくのか、を確認できましたし、これは今後の道場での稽古に大いに生かされていくこととなります。

空手をやる目的、それは各々だとは思いますが。各々の目的、目標をもって空手稽古に励むことはとても重要です。目標をもっていれば必ず成長に結びつきます。

健康維持の為。精神修養の為。体を鍛える為。己を強くする為。

その目的や目標は、なんでもいいんです。ただ、その目的や目標は常に自分の目の前にあるもので、追いつけるものであり、それを「道」というのだと思います。黒帯を目標に空手を頑張ってきた子が、黒帯になった途端に目標を失い、空手に対する意欲が低下するというのはよくあることです。「道」を見失うんですね。一つの道をクリアしたら、次の道を探さなければなりません。継続とはその連続なのではないかと思えます。逆に、例えば、その「道」が永遠に自分の目の前にあり、進んでも進んでもゴールが近づかないものだとすると、諦めない限り、その目標に向かって永遠に歩み続けることが出来る。これもまた「道」です。和道流の空手ってそんなことも教えてくれます。

今回の和道流全国大会では、和道流という絆でつながった友と、尊敬する方々と、ライバルと一緒にこれまで自分が進んできた「道」を振り返ることができ、また、これから進んでいく「道」を明確にすることが出来ました。これは、今回出場した子ども達全員が感じていることであり、今後、毎年、この全国大会の場に帰ってくるたびに深まっていくものです。

和道流全国大会に出場する本当の意味、意義は、深く、これからの「道」をしっかり照らしてくれる機会です。

来年、第60回大会には、更に多くの古賀道場生が、全国大会という舞台で自分自身を深めることが出来ることを今から楽しみにしております。

# 第59回和道流空手道連盟全国大会

令和5年8月19日(土)・20日(日)  
東京武道館

暑さ厳しい8月、今年も和道流全国大会が盛大に開催されました。全国各地から500名を超える和道流拳士が集い、日ごろ各支部で培ってきた和道流の技を競い合いました。

古賀道場からは、小中高生10名、一般2名が出場し、それぞれの目標に向かって頑張ってきました。和道流全国大会は、試合を楽しむことができ、更に大会自体も楽しむことできる、本当に楽しい大会です。和道流を志す者同士の試合で繋がる絆があったり、ライバルが出来たり。全国の和道流の技の違いを感じ取れたり、レベル高い技から多くを学んだり。

今回、貴重だったのが、宗家をはじめとする本部の先生方の演武でした。迫力のある和太鼓にあわせて行われる宗家の演武は迫力満点で、会場は息をのみ、その目を離せない演武に釘付けになっておりました。

今回出場した道場生10名のうち、半数の5名が見事予選を通過し、2日目の決勝ラウンドに進むことが出来ました。見事だったのが、裕介と一悟です。形、組手ともに決勝戦は同門対決となり、形では、一悟が金に、組手では裕介が金にと、これまた仲良く金メダルを分け合いました。一悟は小学2年生からこの大会に出場して、初めてのメダルをもらうことができたのが本当に嬉しかったようです。裕介も初の金メダルを獲得しました。初出場の、和真も大健闘を見せ、形、組手ともに3位入賞を果たしました。大会前の形の特訓に耐え、確実に実力をつけることが出来た結果だったと思います。遠く名古屋にお住いのお父さんも、今回は最後まで応援し、和真の雄姿を間近で見ることが出来喜んでいただけたことと思います。安那も形で、椿は組手で仲良く敢闘賞をいただきました。

熟練の形試合、この試合は、トーナメントで優勝しても、そのレベルが「人位」、「地位」、「天位」に達していないと判断されると表彰されないというもの。昨年は、「人位」をいただきましたが、今年は何と、和道流史上初となる「地位」を頂戴することが出来ました。これは、これまで道場でやってきた稽古が間違っていないことを証明するものであり、とても名誉なことです。因みに、熟練組手試合では、今年も優勝者はいたものの、表彰は該当者がいませんでした。厳しい結果です。

何はともあれ、今年も最高の和道流全国大会でした！また来年！



## 古賀道場の結果

高橋 和真	形 3位	組手 3位
濱崎 安那	形 敢闘賞	
浦部 椿	組手 敢闘賞	
野田 裕介	形 準優勝	組手 優勝
小島 一悟	形 優勝	組手 準優勝
古賀 大之	熟練形 地位	
その他		
重松 旺佑	組手 1回戦	形 1回戦 敗退
小島 千佳	組手 1回戦	形 1回戦 敗退
今泉 知仁	組手 1回戦	形 1回戦 敗退
丸田 誠志朗	組手 1回戦	形 2回戦 敗退
小島 彩瑛	組手 2回戦	形 2回戦 敗退

## 全国大会番外編



全国大会が終わったら、恒例のみんなで打ち上げ！  
試合が終わって、ホッとしたら、すごいお腹へってたから、こんなにお皿いっぱい焼きそば食べちゃったw  
楽しい全国大会を振り返り、子どもも大人も大いに盛り上がりました。また、各自、東京を目いっぱい楽しんで帰ってきたことでしょう！これも全国大会の楽しみの一つです！